

## 冷熱特集の発刊に際して

三菱重工サーマルシステムズ株式会社  
取締役社長

楠本 馨

Kaoru Kusumoto



冷熱特集の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

三菱重工サーマルシステムズ株式会社(以下、当社)は、2016年10月に三菱重工業株式会社の冷熱事業を承継してスタートし、2018年1月に三菱重工業株式会社のカーエアコン事業を承継した三菱重工オートモーティブサーマルシステムズ株式会社を吸収合併した会社です。当社グループの事業は、家庭用・店舗用・ビル用の空調機、工場用を中心とした大型冷凍機、低温輸送のための輸送用冷凍機、高温及び低温領域でのヒートポンプ製品によるサーマルソリューション事業、カーエアコン事業で構成されております。これらの幅広い商品群を世界中のお客様に提供する総合空調冷凍メーカーとして、環境にやさしい、快適な暮らし作りに貢献してきました。

当社グループを取り巻く事業環境は、短期的は米中の経済変動による影響はありますが、中期的には世界人口と中流階級の増加により底堅い需要に支えられ、冷熱市場は安定的に成長している中、COP21のパリ協定やモントリオール議定書のキガリ改正等による地球環境保全に対する取り組み・規制の強化が新興国も含めた全世界で広がりを見せています。

このような状況の下で、当社グループは、大型冷凍機事業及び冷凍・給湯分野を中心としたサーマルソリューション事業を強化し、電動自動車の伸長に対応したカーエアコン・輸送用冷凍機の電動化へ重点強化を行い、地球温暖化係数の低い冷媒への転換や省エネルギー・高効率化により、冷熱商品のCO<sub>2</sub>削減に向けて取り組んでおります。

本特集号ではこれらの最新製品と技術動向について、幅広く紹介したいと思います。

大型冷凍機事業では、地球温暖化係数の低い冷媒を使用した大容量コンパウンドターボ冷凍機や超低負荷インバーターターボ冷凍機を用いた食品用プロセス冷却の最適化等です。

サーマルソリューション事業では、自然冷媒CO<sub>2</sub>を使用した低温用大容量コンデンシングユニットや空気熱源循環加温ヒートポンプ機等です。

空調事業では、R32に代わる低GWP冷媒を搭載したルームエアコン実証機や進化型三次元スクロール圧縮機、ヨーロッパデザインを採用した天井埋込型コンパクト機FDTCシリーズ、寒冷地向けルームエアコン、空調機IoT遠隔監視システムM-ACCESS等です。

輸送用冷凍機では、発電機搭載型の小型機及びトレーラ用冷凍機等です。

カーエアコンでは、車載用ソフトウェア開発におけるAutomotiveSPICE認証取得の取り組みや、車載用ヒートポンプシステム等をご紹介します。

当社グループは“環境負荷低減”、“高効率・省エネルギー”、“利便性向上”などを追及し、世界中の社会・お客様に満足して頂ける製品を提供する総合空調冷凍メーカーとして、更なる新製品・新技術の開発に継続して取り組んでまいります。引き続きご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。